

友愛

題字・鳩山威一郎

機関紙「友愛」
発行所

財団法人友愛青年協会

〒112-0002 東京都

文京区小石川1-10-13

松本ビル2F

TEL 03-5684-3188

FAX 03-5684-3186

発行人：川手正一郎

編集人：長田正太郎

隔月1回 10日発行

購読料

年額 3,000円

中国での植林事業 いよいよスタート!

緑化基金の審査終了

今年度からスタートした日中友好緑化基金(小淵基金)故小淵恵三総理と江沢民国主席との間で交わされた青少年を主体とする民間の植樹造林活動の申請・審査が終了した。厳しい審査の結果、財団法人日本友愛青年協会に決定通知が届いた。

友愛精神 中国に届く

日本友愛青年協会と中華全国青年連合会は数十年前の友好の歴史があり、互いに高く評価されている。両組織は共同の土台、お互いの信頼に基づき、共に発展の重要な要素とされている。両組織にも青年交流と協する精神を原則に、日中



緑化基金(小淵基金)を植林造林の展開、生態環境の保護に使用するため共同して申請した。

一、共同プロジェクトの実施主体
日本側：日本友愛青年協会
中国側：中華全国青年連合会、柳州地区カウナターパートナー、広西柳州青年連合会

二、植林地区
広西チワン族自治区来賓県の紅水河流域

三、共同プロジェクト名
広西柳州地区水土流失防止林プロジェクト

四、実施地域の概要
来賓県は広西の中部に位置しており、プロジェクトが県内を流れる紅水河の中央十四kmの両岸で実施する予定。土壌は主に土砂土と赤土となっている。

五、必要性・経緯・森林資源危機により、貯水と排水等洪水防止機能は著しく低下し自然災害が頻発。毎年約二千万円(二億一千三百円)が人々の生活に大きく影響している。緊急性・災害が日増しにふえ、全地域に影響している。

六、植林期間と規模
植林の計画は二〇〇〇年から二〇〇四年(当面は五年計画)とし、その後必要に応じて計画を継続することとする。毎年春あるいは秋に植林を行う。原則として、年ごとに完成する植林面積は百二十〜二百ヘクタール、五年間で約八百ヘクタール造林する。

七、毎年一回その組織の構成員及びこの事業を支援する日本青年を派遣し、中国で植林を行う。中国側も青年志願者を組織し植林地に行き、日本側と共に植林活動を行う。

八、来賓県では、高速道路を九月から整地作業、一月から二月植林予定、日本から植林団派遣予定

クレイトン・ホフの友愛思想

No 3

深津 栄一

米ソの対立が終って国際社会は構造的な変動過程に入った。しかし、新しい紛争として人種対立が始まった。今回はこのいゆる人種戦争について考えることにした。

印象強かったク伯との出会い

一九五六年八月に、はじめてクアテンホフ伯にお会いしてから、以後東京、ヨーロッパで、何度もお会いしたが、私にとっても印象が強かったのは、やはりこの最初のスイス・ベルンの訪問であった。今ふりかえってみると、その後の五十年間におこった事件について、ク伯はいくつかの「予言」をしておられたことがわかってきた。

例へば、当時誰も決定的に考えなかった、アメリカ・ソ連・ロシアを中核とする世界の二大勢力の対立について、「おそらく一世代(二十年)ほどの間に終結する可能性がある」と言われたことも、その一つである。(戦争から平和へ、一九五九、二二頁)

「人種間の戦争」

複雑な「区別」「差別」用語

この点クアテンホフ伯の著書を読むかぎりでは、これら用語上の問題に深入りしては、慎重に避けて、できるかぎりわかりやすい説明となっている。例へば、「ヒトラーのナチズムが、アーリア人種論に基礎をおき、人類は異なった人種のヒラミッドを構成し、その基礎は人間の皮膚や目の色によって区別

人間の皮膚や目の色によって区別

紙数が残り少なくなったので、クアテンホフ伯の結論だけ以下要約する。つまり、このように区別

「異族結婚」により種族が破壊へ

紙数が残り少なくなったので、クアテンホフ伯の結論だけ以下要約する。つまり、このように区別

静和

このマークは、同志の絆として用いられてきました。左半分はローマ字のUでYou(あなた)を意味します。右半分はI(わたし)を意味します。左右をあわせるとWe(私たち)とWorld(世界)を意味し、私たちの手で世界を築くという意図を表しています。

〇十一月の朝テレビでテニスの杉山愛選手が全米の女子ダブルスで優勝したのを見ていました。オリンピックに浮かれた報道陣はまさかと思ったのでしょうか、あまり注目していませんでした。本人も大きなフレッシャーに感じず伸び伸びとプレーができたようです。二十五年ぶりの快挙に心からおめでとうを申し上げます。(長)



